

2023年(令和5年)4月13日(木曜日)

新 聞

# 新設・岐阜大学長賞など表彰

## 県新酒鑑評会、岐阜で36点

県内の蔵元で醸された新酒の出来を評価する県新酒鑑評会の表彰式が十二日、岐阜市のホテルグランヴェール岐阜であった。三十一社から百四十二点が出品され、三十六点が表彰された。三十回目の節目を記念し、岐阜大生が選ぶ「岐阜大学長賞」を新設した。

六日に審査会があり、純米吟醸、吟醸、純米、本醸造の四部門で特に優れた酒を選出した。

岐阜大学長賞は、同大内に同研究所が入居している縁から創設。若者に日本酒をPRする狙いもある。同研究所の「清酒醸造実習」を受けた学生五人が香りや飲みやすさといった観点で審査。純米吟醸・吟醸、純米・本醸造の二部門で一点ずつ選んだ。審査に参加した大学院二年の山本明日香さん(三)は「雑味が少なくフルーティーなお酒を選びました」と話した。

岐阜大学長賞は、同大内に同研究所が入居している縁から創設。若者に日本酒をPRする狙いもある。同研究所の「清酒醸造実習」を受けた学生五人が香りや飲みやすさといった観点で審査。純米吟醸・吟醸、純米・本醸造の二部門で一点ずつ選んだ。審査に参加した大学院二年の山本明日香さん(三)は「雑味が少なくフルーティーなお酒を選びました」と話した。

県食品科学研究所によると、昨夏の高温の影響で酒米が硬く、味を十分に引き出せない懸念があったが、高い醸造技術で香り高く上品な酒がそろった。三月十

日、岐阜大学長賞は、同大内に同研究所が入居している縁から創設。若者に日本酒をPRする狙いもある。同研究所の「清酒醸造実習」を受けた学生五人が香りや飲みやすさといった観点で審査。純米吟醸・吟醸、純米・本醸造の二部門で一点ずつ選んだ。審査に参加した大学院二年の山本明日香さん(三)は「雑味が少なくフルーティーなお酒を選びました」と話した。



受賞した新酒と蔵元の代表者ら。岐阜市のグランヴェール岐阜で

(川添智史)

### ◆主な入賞銘柄

- 【県知事賞】▽純米吟醸「蓬萊極意傳」(飛騨市・渡辺酒造店)▽吟醸「奥飛騨」(下呂市・奥飛騨酒造)▽純米「女城主」(恵那市・岩村醸造)▽本醸造「小左衛門」(瑞浪市・中島醸造)
- 【県議会議長賞】▽純米吟醸「御幸鶴」(大垣市・武内)▽吟醸「白真弓」(飛騨市・蒲酒造場)▽純米「黒松白扇」(川辺町・白扇酒造)▽本醸造「男爵鉄心」(大垣市・三輪酒造)
- 【岐阜大学長賞】▽純米吟醸・吟醸「恵那山」(中津川市・はざま酒造)▽純米・本醸造「やんちゃ酒」(飛騨市・蒲酒造場)